MASPRO

BCアンテナ BC paqabo セット

取扱説明書

BS・110°CS ANTENNA SET

BS・110°CSアンテナセット
受信周波数 11.7～12.75GHz

BSC45R-SET

低電圧(DC15V)方式

JEITA BS Digital

BSディジタルハイビジョン対応

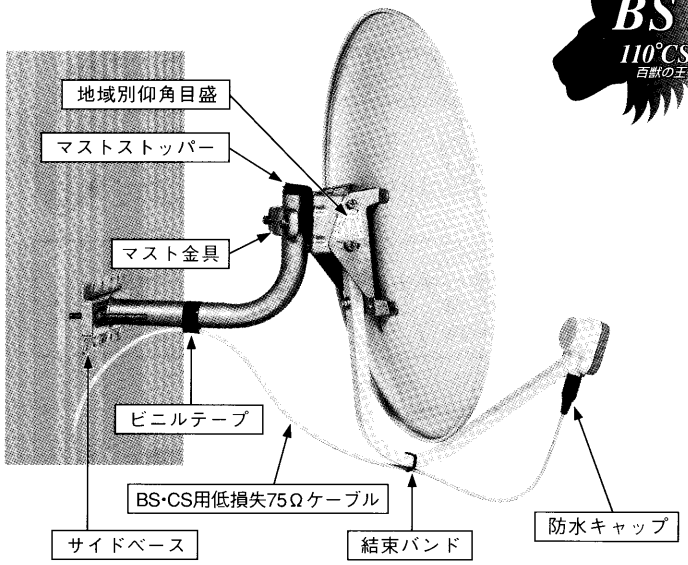
110°CSディジタル放送対応

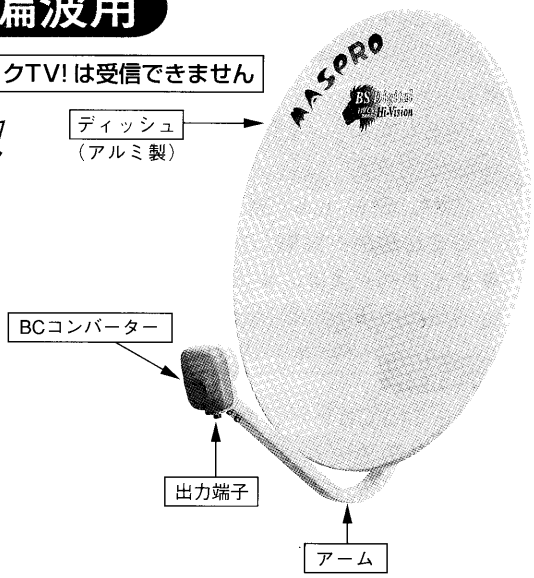
右旋円偏波用

スカイパーフェクTV! は受信できません

BS Digital 110°CS 百獣の王 Hi-Vision

BCアンテナとサイドベース（フェンス・壁面兼用取付金具），ケーブルなど，アンテナの取付け，配線に必要な機材がセットになっています。





MASter of PROduction 生産の覇者

高性能G/T値を保証

G/Tは，アンテナ利得とコンバーター雑音指数(NF)によって決まる衛星アンテナの総合性能です。
マスプロBCパラボは，高効率ディッシュと高性能コンバーターによって，BSから110°CSまで広帯域にわたって最高水準のG/T値になっていますから，雷雨・豪雨などで衛星電波が弱くなったときに威力を発揮します。

優れた位相雑音特性

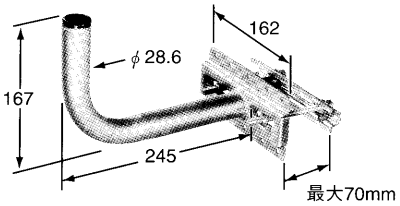
局部発振位相雑音は，BS・110°CSディジタル放送を安定した画像で受信するために重要な性能です。マスプロのBCコンバーターは，マスプロ独自の発振回路設計により，優れた位相雑音を実現していますから，BS・110°CSディジタル放送受信に最適です。

110°CSディジタル放送に対応

2002年春頃，放送開始予定の110°CSディジタル放送(右旋円偏波)が受信できます。

●110°CSディジタル放送の左旋円偏波は，受信できません。

セット内容



サイドベース(フェンス・壁面兼用取付金具)　1個

BS・CS用低損失75Ωケーブル(**4C**)　15m
(片端にF型コネクター・防水キャップ付)

スパナ　1個
(10,11,13mm用)

結束バンド　1本
(ケーブル固定用)

F型コネクター　1個
(**4C**ケーブル用)

ケーブルステップル　5個

ビニルテープ　1巻
(19mm×5m)

JEITA BS Digital BSディジタルマークとは，(社)電子情報技術産業協会に登録された一定以上の性能を有する受信システム機器に付けられるシンボルマークで，BSディジタルアンテナや機器の性能を証明するものです。

●ご使用の前に，この「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

マルチメディアの MASPRO ＝マスプロ電工＝

⚠警告

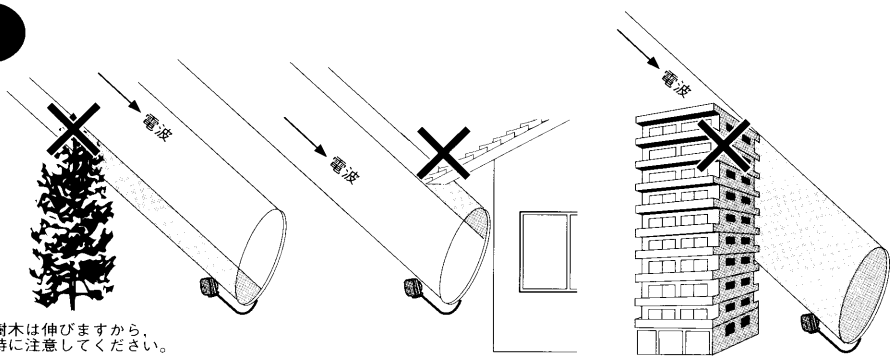
- 雷が鳴り出したら，引込みケーブルやアンテナには触れないでください。感電の原因となります。
- ディッシュには，光沢がでる塗料やワックスなどを塗らないでください。太陽光線が反射して，BCコンバーターに集まり，やけど・故障の原因となります。(3月･10月初旬の13～15時には，特に熱くなります)

⚠注意

- アンテナを取付けるときは，落下防止のため，アンテナや工具をヒモで結ぶなどの，安全対策をしてください。
- アンテナを改造・分解しないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 強風のときは危険ですから，取付作業をおこなわないでください。

アンテナの設置場所

- アンテナが，しっかりと設置できる場所を選んでください。
- 西南方向の，斜め上方に，障害物(樹木，軒先，ビル，高架道路，崖など)のない場所へ設置してください。
- サイドベースは，マスト部が必ず鉛直になるように取付けてください。

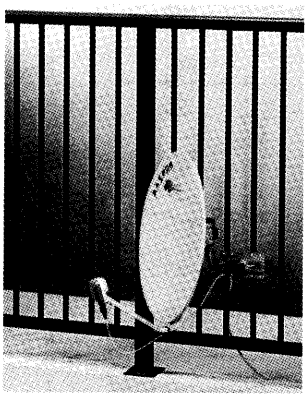


ご注意

BS・110°CSディジタル放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり，雪がアンテナに付着すると電波が減衰し，全く受信できなくなることがあります。

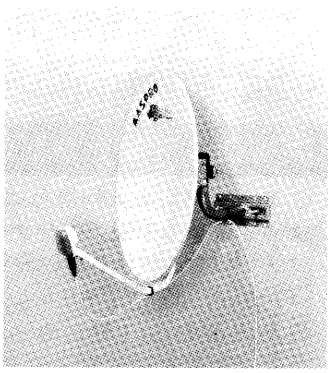
アンテナの設置例

フェンス設置

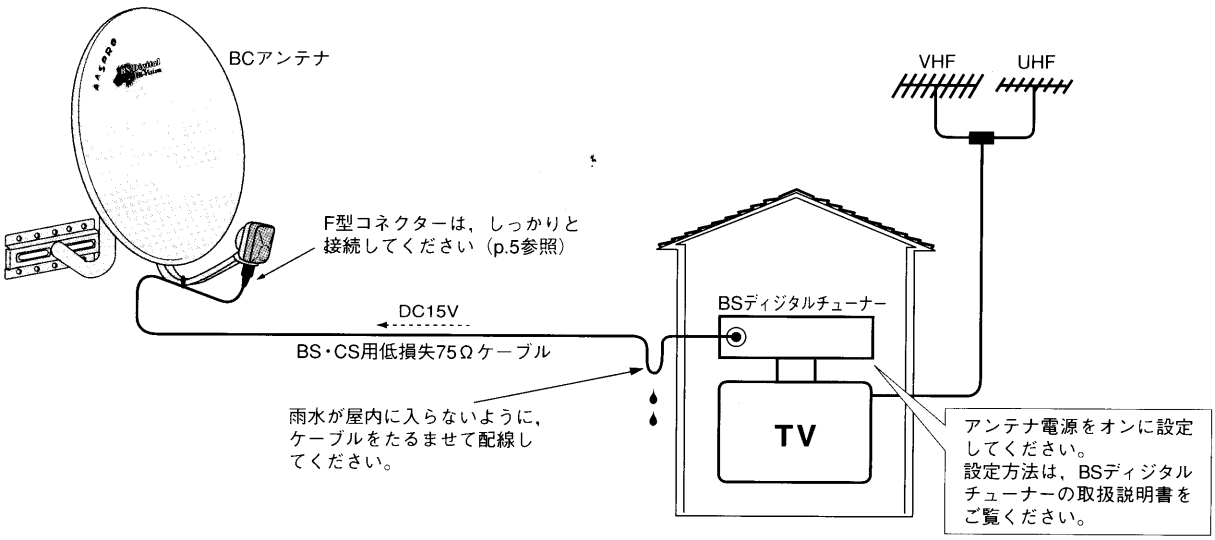


壁面設置

- ●木造の場合，木ネジやくぎで，コンクリートの場合，アンカーボルトで，強度の充分確保できる壁面や柱・桁に，しっかりと固定してください。
- ●壁面に設置する場合，雨水の浸入や強度不足のないように注意してください。



アンテナとBSディジタルチューナーの接続例



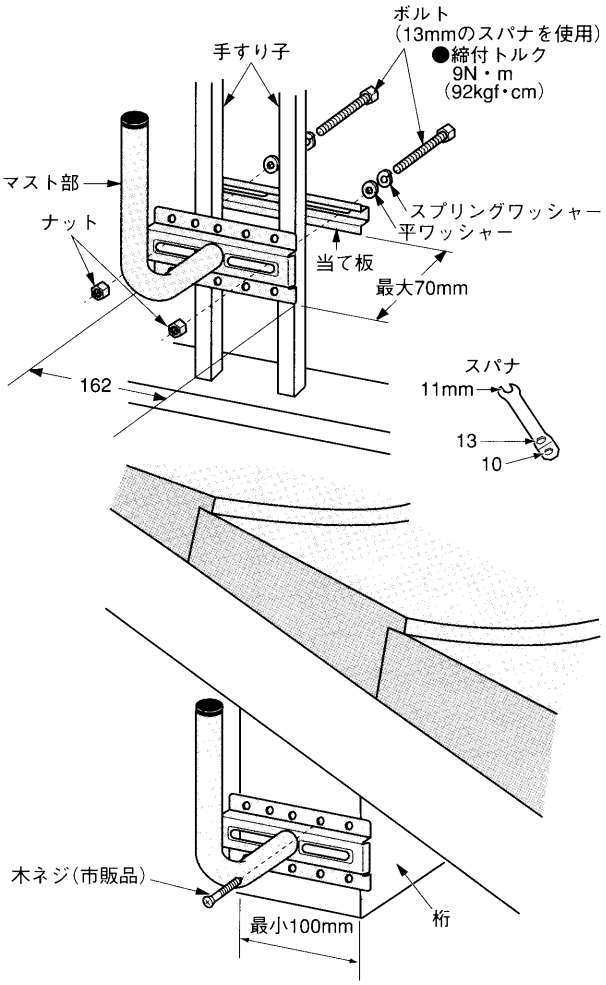
サイドベースの取付

フェンスの場合

●手すり子に取付ける場合，サイドベースをフェンスの根元に近い，じょうぶな部分に取付けてください。
●ボルトは，手すり子にできるだけ近い位置で締付けてください。
●サイドベースは，13mmのスパナを使用して，指定の締付トルクで締付けてください。
●締付部分は，初期ゆるみがありますから，数か月後に再度，締直してください。

ご注意

サイドベースは，マスト部が必ず鉛直になるように取付けてください。
マスト部が傾いていると，地域別仰角目盛が合わなくなり，簡単に方向調整できないことがあります。



柱・桁・壁面の場合

必ず，市販の5.1×70㎜以上の木ネジまたは4.2×100㎜以上のくぎで，6か所以上を，しっかりと固定してください。

●壁面に設置する場合，必ず工務店にご相談ください。

アンテナの組立・取付

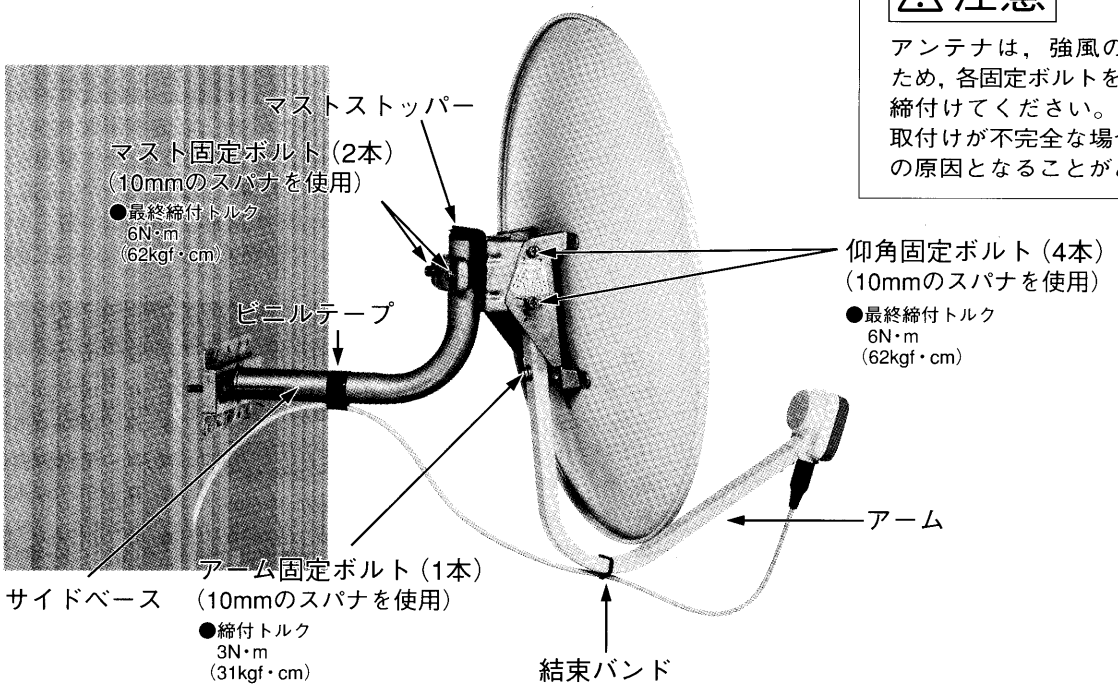
① 組立ては，1本のアーム固定ボルトでアームを取付けるだけです。

② サイドベース（フェンス・壁面兼用取付金具）に，アンテナを取付けます。

アンテナが左右に回転する程度に，マスト固定ボルトをスパナ（10mm）で締付けてください。

⚠注意

アンテナは，強風の影響を受けやすいため，各固定ボルトを指定の締付トルクで締付けてください。
取付けが不完全な場合，落下して，けがの原因となることがあります。

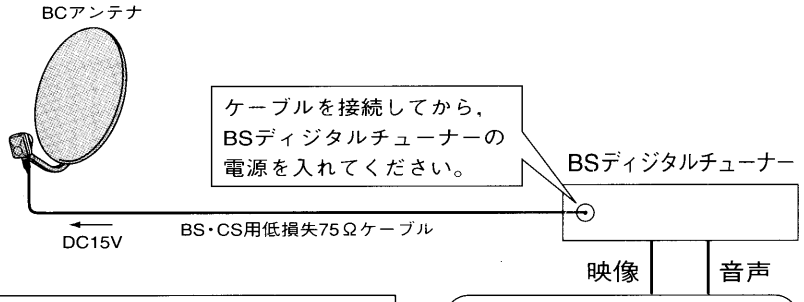


アンテナの方向調整

110°CSディジタル放送は，BS放送衛星と同じ軌道位置にあるCS衛星から電波が送られてきます。アンテナは，BSディジタル放送を受信して方向調整をします。

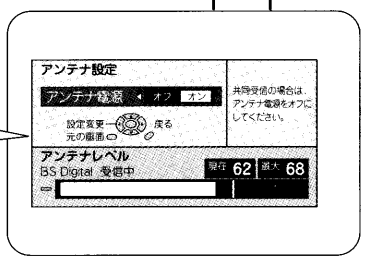
BS・CS用低損失75Ωケーブルで，BCアンテナとBSディジタルチューナーを接続します。
ケーブルの配線，接続は，p.5をご覧ください。

受信する地域付近に①仰角目盛を，およそ合わせて，②アンテナを西南方向に向け，左右にゆっくり回せば，簡単に映ります。

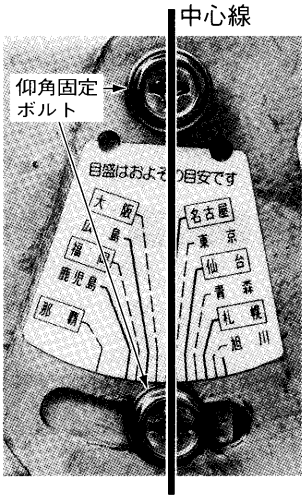


「アンテナレベル表示」画面を表示させます。
表示方法およびBSディジタルチューナーとの接続方法は，BSディジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。
（アンテナレベルの値は，ご使用になるBSディジタルチューナーによって異なります。）

●従来のBSアナログ放送を受信する場合，TVの画像を見ながらアンテナの方向調整をしてください。



「アンテナレベル表示」画面例



地域別仰角目盛（およその目安）
（名古屋に合わせた例）

① 仰角を合わせます。

仰角固定ボルトの中心線に，地域別仰角目盛に表示してある 地名 を，およそ合わせて，仰角固定ボルトを仮締めしてください。

受信点がどの 地名 に該当しているかは,下の 地域別仰角目盛対応図 で確認してください。

② 方位角を調整します。

「アンテナレベル表示」画面を見ながら，アンテナを西南方向に向け，左右にゆっくり回してください。アンテナレベルがほぼ最大となるところで，マスト固定ボルトを仮締めしてください。

方位角の調整

ご注意

アンテナは，ゆっくり動かしてください。

BSディジタルチューナーは，アンテナレベルが変化しても，表示が変わるまでに少し時間がかかります。アンテナを速く動かすと，アンテナレベルの最大点が見つけにくくなります。

③ 仰角・方位角を微調整します。

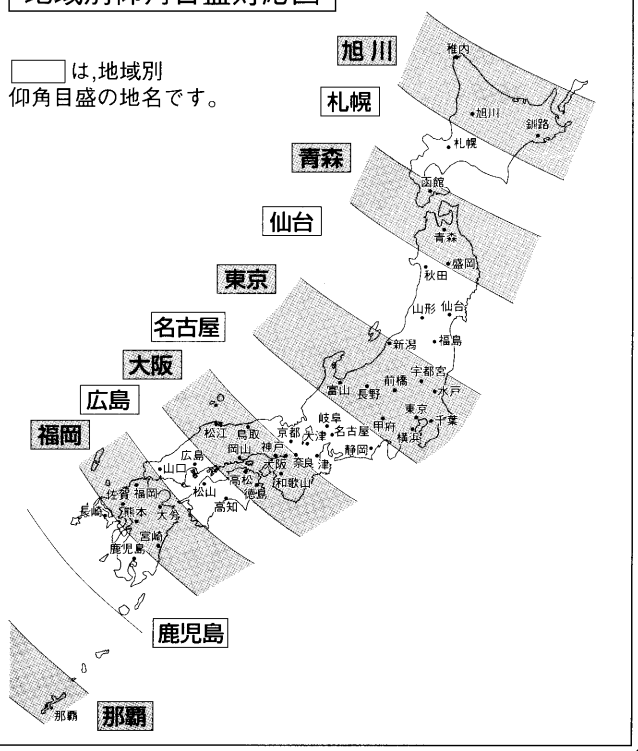
アンテナの仰角・方位角を再度調整して，アンテナレベルが最大となる位置で，各固定ボルトを指定の締付トルクで，締付けてください。

●きれいに映っているはずです。
万一きれいに映らないときは，再度①からやり直してください。

●マストが鉛直であれば，再調整は不要ですが，マストが傾いているときは，②，③をくり返すことになります。

地域別仰角目盛対応図

□は,地域別
仰角目盛の地名です。



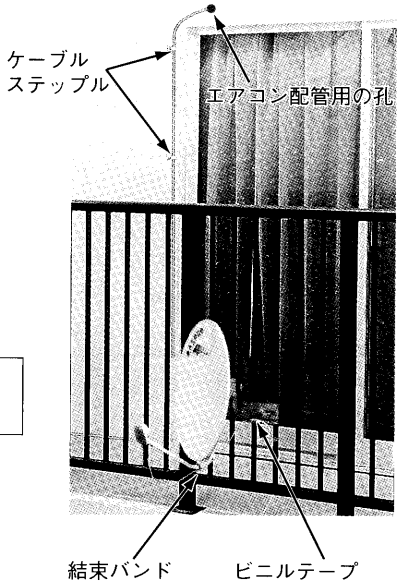
ケーブルの配線

［エアコン配管用の孔がないときは，別売のすき間用接続ケーブル **FLC5F-P**を使用すれば，窓や戸のすき間からケーブルを引込むことができます。（**4C**用F型コネクターが2個必要です）］

① エアコン配管用の孔などから，ケーブルを室内に通します。

② ケーブルは，フェンスまたは壁面にそわせて，結束バンド・ケーブルステップル・ビニルテープなどで固定します。

③ 配線が終わった後，市販のパテで，エアコン配管用の孔などをふさぎます。

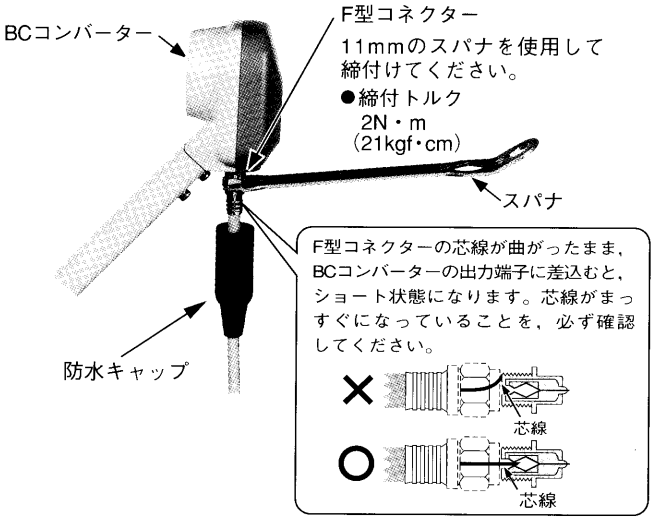


ご注意

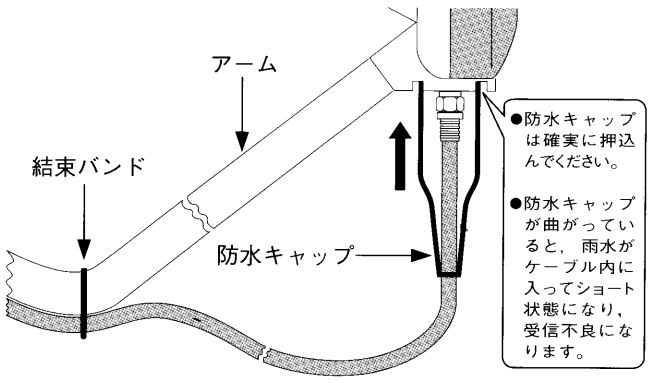
ケーブルは無理に曲げないでください。（曲げ半径は40mm以上にしてください）

ケーブルの接続

① F型コネクターを，BCコンバーターの出力端子へ，しっかりと接続してください。

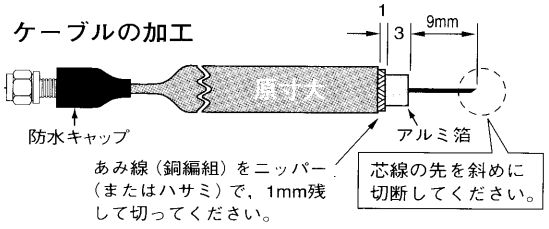


② 防水キャップを矢印の方向へ確実に押込んで，防水キャップが曲がらないように，ケーブルを結束バンドでアームに固定してください。

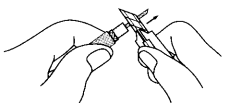


F型コネクターのケーブル取付方法

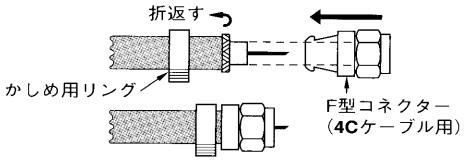
① ケーブルの加工



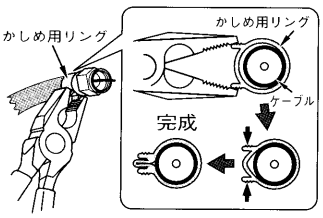
② 芯線には白い膜が付いています。
導通を良くするために，必ず取除いてください。



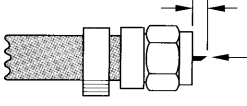
③ F型コネクターの取付
1.かしめ用リングを，ケーブルに通してください。
2.あみ線（銅編組）を折返してください。
3.F型コネクターを強く押込んでください。



④ かしめ用リングをペンチで圧着
F型コネクターが抜けないように，F型コネクターの根元で，しっかりと圧着してください。



完成図



芯線は，まっすぐにしてください。曲がっているとショート状態になります。

③ 室内に引込んだケーブルの端にF型コネクターを取付け，BSディジタルチューナーのBSアンテナ入力端子に接続します。F型コネクターは，確実に取付けないと，受信不良の原因となります。取扱説明書をよく読んで取付けてください。

（ケーブルを室内へ引込む際，通す孔が小さいときは，ケーブルを孔に通してから，F型コネクターを取付けてください。）

規格表 Specifications

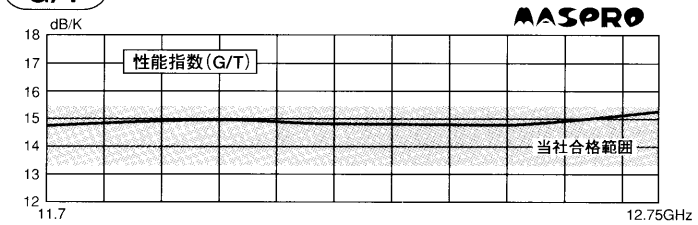
MASPRO

項目 Items	規格
受信周波数 Reception Frequency	11.7～12.75GHz
受信偏波 Polarization	右旋円偏波
アンテナ利得 Antenna Gain	33.7～34.6dB
開口効率 Aperture Efficiency	77～80%
性能指数（G/T） Gain to Noise Temperature Ratio	標準値14.5dB/K（13.3～15.5dB/K）
風圧荷重 Wind Loading	26kg（風速40m/s）　59kg（風速60m/s）
受風面積 Wind Surface Area	0.19m^2
有効開口径 Aperture Diameter	450mm
出力周波数 Output Frequency	1032～2072MHz
コンバーター利得 Conversion Gain	48～56dB
局部発振位相雑音 Local Oscillator Phase Noise	標準値 ⊖ 75dBc/Hz以下（ 1kHzオフセット） 〃 ⊖ 97dBc/Hz以下（ 5kHzオフセット） 〃 ⊖106dBc/Hz以下（10kHzオフセット）
雑音指数 Noise Figure	0.5～0.9dB
出力インピーダンス Output Impedance	75Ω（F型コネクター）
局部発振周波数安定度 Local Oscillator Frequency Stability	±1.5MHz以内
使用温度範囲 Temperature Range	⊖30～⊕50℃
電源 Power Requirements	DC15V　1.5W（標準値）
外観寸法（仰角40°のとき） Dimensions	550（H）×460（W）×435（D）mm
質量（重量） Weight	約1.5kg

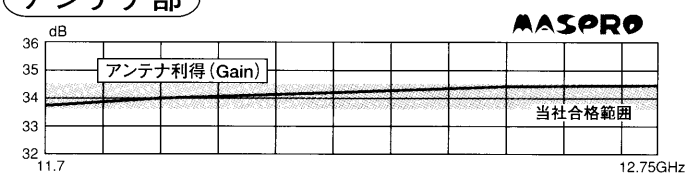
マスプロの規格表・性能表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

周波数特性 Frequency Characteristics

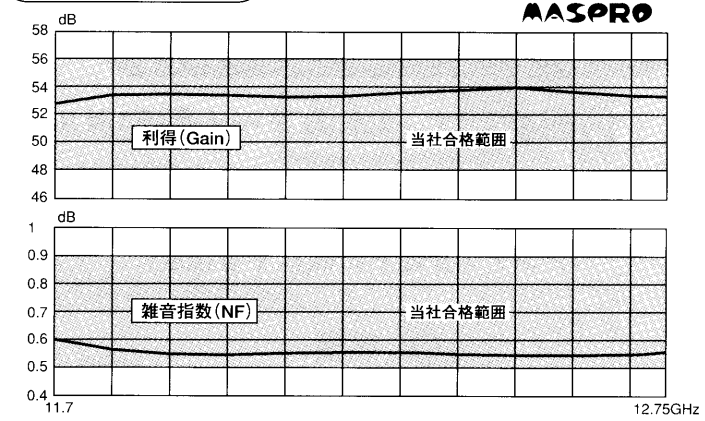
G/T



アンテナ部



コンバーター部



MASter of PROduction
生産の覇者

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝

本社 〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町
営業部　TEL 名古屋(052)802-2244
技術相談　〃　(052)805-3366
インターネットホームページ　www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖縄　(098)854-2768
鹿児島　(099)812-1200
宮崎　(0985)25-3877
熊本　(096)381-7626
長崎　(095)864-6001
福岡(支)(092)531-3861
北九州　(093)941-4026
下関　(0832)55-1130
徳山　(0834)32-2954
広島　(082)230-2351
松江　(0852)21-5341
岡山　(086)252-5800
松山　(089)973-5656
高知　(088)882-0991
高松　(087)865-3666
姫路　(0792)34-6669
神戸　(078)843-3200
大阪(支)(06)6635-2222
工事営業部(06)6632-1144
京都　(075)646-3800
和歌山　(073)473-8867
津　(059)234-0261
岐阜　(058)275-0805
名古屋(支)(052)802-2233
工事営業部(052)804-6262
豊橋　(0532)33-1500
静岡　(054)283-2220
松本　(0263)57-4625
福井　(0776)23-8153
金沢　(076)249-5301
新潟　(025)287-3155
横浜　(045)784-1422
渋谷(支)(03)3409-5505
工事営業部(03)3499-5631
秋葉原　(03)3255-7335
青戸　(03)3695-1811
八王子　(0426)37-1699
千葉　(043)232-5335
さいたま　(048)663-8000
前橋　(027)263-3767
水戸　(029)248-3870
宇都宮　(028)660-5008
郡山　(024)952-0095
仙台　(022)786-5060
盛岡　(019)641-1681
秋田　(018)862-7523
青森　(017)742-4227
函館　(0138)53-7355
札幌　(011)782-0711
釧路　(0154)23-8466
旭川　(0166)25-3111
北見　(0157)61-0480

2K55-294
N·18-4294-2L
AUG., 2001